





八世六ノ一

しられみしをまらふはこころをさへ  
くしほひくまひんよるほをれこの  
おふたををほこりさくよすせり  
うおわりしほへまよるまかいつまれらみ  
ぬよりそやそりくつたのよこまの  
まへ

あうらんぬそめはけりしりしんさひ  
つれ水いぐりぞぬりともせぬしとこころの  
あまのつくよりぞううゆへにうらハつら  
ぢやともしあからぬとをさるねをさひ



と勢倍りんりいささあつりあうす  
のどかよとれきくいゆくありあめひそ  
佛れあう倍くさくせとくい志あうりて  
きしあうらうとふりいれひらと  
ゆんくいかもーせ人れりあめありと  
あうらうーそれありてれくあくひ  
おいとあうぞはうくさうべんれきくいひさ  
倍くせしゆとあくくうらうらうれり  
きんは入りしゆんつきうすうらうわ  
あーと一候しぬうらうあふれどめはよ

八拾六ノ二

若くはれれうさーハやまをそれれき  
ゆりゆりゆりぐくくくぞなうあまう  
きしと人れうらうーれあうとあま  
なる白雲れをうらうーれあうとあま  
うらうれとあいあうとあまうとあま  
わらわあめー若うらうあまうとあま  
しーれせうらうあゆとあまうとあま  
あめなりりあまうらうのいさうらう  
かえーすすあうらうあまうとあま  
あまうらうとあまうらうとあまう



三つとちのひとらぬる

八巻六ノ四

平云德六冊光源氏物語全巻也然其  
本部准史記評林 觀音寶殿奉納之  
誠 菩薩之秘本當奇重物也於湊漏之  
本部心性因却者也末代之任寺秘之  
寶之役任之戒語而已

石山寺任持

康平元 戊曆正月日

大僧部信誓

上官有祈願參範石山身滿六日曉有  
靈夢替祈願給此六冊別於寶殿  
讀之光源氏物語之始終全詳之源  
哉々々妙詞激骨髓吊後秘之奉納  
清水寺寶藏者也

元應元年九月二日

正二位權中納言藤原親兼

